

令和5年度 大森第四小学校 研究の概要、成果と課題

1 研究主題

「主体的・対話的で深い学びの実現 ～聞く・話すを大切にしたい授業改善を通して～」

2 昨年度の研究と研究主題設定の背景

昨年度は、「未来を創る芽を育てる、生活科・社会科学習 ～大四小モデルの授業方法の模索～」をテーマに研究をした。本校の子どもは、前もって持っている知識が少なく、基礎基本の定着が難しいという実態を踏まえ、子どもの思考の流れの確立に取り組み、「知識をもつ⇒知識を生かす」という単元の流れで授業改善を行った。その結果、根拠がはっきりした考えをもつことができるようになるなど、一定の成果が見られた。

本年度は、対話を通してさらに考えを深めていくために、「話す、聞く」で研究を進めていくこととした。自分の考えの根拠がはっきりした一方で、考えの違いを受け入れる（受容）ことについては、課題があった。日々の授業で先生の話聞くことさえ難しい。自分とは違う意見を最初から否定しては、考えの深まりにつながらない。違う意見だったとしても納得できることはないか、自分に取り入れられることはないかという視点で聞き、話し合いを通して考えを深める子どもを育てていくことを目標とした。副主題が、「話す、聞く」ではなく、「聞く・話す」となっているのも、まずは「聞く」ことを大切にしていきたいからである。

3 本年度の研究の流れ（研究全体会3回、研究授業6回、研究のまとめ1回）

4月：研究全体会2回（目指す児童像、テーマ） 6月：5年、6年研究授業 8月：研究全体会（1学期の振り返り、今後の方針） 9月：4年生研究授業 10月：3年生研究授業 12月：1年生研究授業
1月：2年生研究授業 2月：研究のまとめ、次年度の研究の検討

4 成果と課題

研究授業を通して、相手の話を最後まで聞いて、受け止める姿や、自分の考えを安心して話す子どもの姿が見られた。しかし、日常的に行うことはまだまだ難しく、クラスや学年によって差が大きい。今後、国語で培った基礎を生かして、様々な教科で有効な手だてとして、話し合い活動を取り入れていけるよう、来年度も研究を深めていく。

授業の中で見られた子どものよい姿（成果）

- ・ 1年生：最後まで静かに話を聞くことができた。声の大きさに気を付けて話すことができた。
- ・ 2年生：グループでの話ができた。うなずいたり、反応したりしながら話を聞くことができた。
- ・ 3年生：役割を意識して小グループで話し合うことができた。「決まった？」「どう思う？」など質問できた。
- ・ 4年生：学級全体での話し合いができた。一人一人が参加する意識をもち、子どもたち同士でも最後まで聞いた。
- ・ 5年生：あいづちをうったり、うなずいたりしながら、最後まで聞いた。グループでメモを取りながら聞いた。
- ・ 6年生：グループを変えながら話し合い、いろいろな意見を自分の考えに取り入れることができた。

5 次年度に向けて

- ・ 各教科に広げていくことを考え、同じでテーマで研究する予定。今年度の研究をブラッシュアップし、土台を作ることを目標に、来年度も「話す・聞く」単元で研究を行う予定。
- ・ 年度当初から共通して指導する事項を確認し、全校で取り組む。（声のものさし、聞き方かきくけこ（聞き方の約束）など）